

堺市が接続期に大切にしたい5つの生活と遊びのイメージ

めざす子ども像 ～それぞれの世界にはばたく“堺っ子”～

- 自分のよさを知り、人とつながり協働する
 - ・自分のよさを知り、豊かな心と人権感覚をもつとともに、人とつながり協働する
- 自らを律し、自ら学び続ける
 - ・自ら学び、考え、よりよく問題を解決し、自ら未来を創る
- ゆめの実現に向けて挑戦する
 - ・将来にゆめや希望をもち、その実現に向けてねばり強く努力する
- 堺を愛し、堺を誇りとする
 - ・堺の歴史・文化のよさを理解し、大切にするとともに、多様な文化を理解する

※「未来をつくる堺教育プラン」「めざす子ども像」(p15 参照)

接続期に大切にしたい5つの生活と遊び
楽しく体を動かそう
ねばり強く取り組もう
豊かな言葉を身に付けよう
数に親しもう
決まりを守って生活しよう

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- (1) 健康な心と体 (2) 自立心 (3) 協同性 (4) 道徳性・規範意識の芽生え
(5) 社会生活との関わり (6) 思考力の芽生え (7) 自然との関わり・生命尊重
(8) 数量・図形、文字等への関心・感覚 (9) 言葉による伝え合い (10) 豊かな感性と表現

幼児教育において育みたい資質・能力

知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう力・人間性等

3つの資質・能力と、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿と、堺市が接続期に大切にしたい5つの生活と遊びは、それぞれが組み合わせあって、堺市がめざす子ども像を育むことにつながっていくと考えています。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿は、どれも等しく育みたい姿です。各園においては、10の姿全てを念頭において全体的な計画の作成にあたってください。